

よしまい

2023年 初夏号



くす玉割れたら始まるよー！

目次

公園の風景

- ・春まつり、大雨だったけど♪・・・1
- ・この鳥、な～んだ？・・・・・・1
- ・ベッコウトンボ調査に同行・・・1
- 木々と木の実と野鳥の話②・・・・2

みんなのひろば

- あれから一年・・・・・・2

活動紹介

- ・葦の会もがんばった！・・・・3
- ・夢みるカブコちゃん・・・・3
- ・仲間が増えたよ(^)♪・・・・3

発行：「葦の会」機関紙チーム

事務局：〒754-1277 山口市阿知須 509-53

きらら浜自然観察公園内

電話 0836-66-2030 (FAX 66-2031)

mail ashinokai.kirara@gmail.com

HP ashinokai.html.xdomain.jp

「葦の会」はきらら浜自然観察公園で活動するボランティアグループです。自然を楽しみながら、その素晴らしさを一緒に学び伝えていきませんか？

会員募集中！（高校生以上）



公園の風景



= 春まつり、大雨だったけど♪ =

どしゃ降りの雨の中を、勇敢にも「生き物ガイドウォーク」や「干潟へGoGo!」へ出かけて行ったり、館内では盛りだくさんのイベントやゲーム、工作で楽しんだり。4月29日に行われた公園主催の春まつりは子供達の真剣な顔や元気な笑顔で溢れました。



びしょ濡れガイドウォーク



缶バッチにする絵、何にする？



ハチミツ絞りは順番待ち



カニを捕まえたよ！



何がいるかな？



お馴染みクロツラ餌取りゲーム



館内は大賑わい



千鳥太鼓に子供たちも参加し

= この鳥、な～んだ？ =

主にヨシ原に住み、5月に入ると鳴き始める、口の中が赤い鳥。ヨシの茎や葉を上手に使っておわん型の巣をつくります。これでわかった人はツウですね。小林一茶は「行々子 口から先に うまれたか」と詠みました。大音量で♪ギョギョシ ギョギョシ ギョシギョシ… と鳴くので「行々子」とも呼ばれます。

答えはオオヨシキリ！この機関紙の「よしきり」は当公園で子育てするこの鳥の名前から取っています。オオヨシキリより小さいコヨシキリはもう少し細い声で鳴きますが、公園で見られるのは渡りの時だけだそうです。これから夏にかけて、ウグイスとオオヨシキリの大競演が繰り広げられます。

= ベッコウトンボ調査に同行 =

4月22日（土）開催された公園の新企画通常は公園レンジャーが行っているベッコウトンボの調査に同行し、参加者はその保全について学びました。ベッコウトンボは全国では10ヶ所程度、山口県下では、きらら浜を含め2カ所にしかない



い絶滅危惧種で、許可なく捕まえることが禁止されています。卵からヤゴまでの人工繁殖も必要で、許可を得て園内でも実施しています。まず、その飼育容器の中でヤゴが羽化し飛び立つ時がくるまでジッとしている姿を見学。その後、ヨシ原の水際を歩きながらの一周コースと、干潟沿いに進むコースとの二手に分かれ今季最多数の合計70頭を確認しました。風が吹いたためかヨシ原にはあまりいませんでしたが、子供たちはアマガエル、カニの穴、タガヤキ、カナヘビなどを見つけて歓声をあげていました。

木々と木の実と野鳥の話 ②

公園では今、甘い匂いのする白いシャリンバイの花が真っ盛り。公園に生えている木々の中で一番多いのは、何と言ってもこのシャリンバイ（車輪梅）。葉が車輪状、花が梅に似ていることから名付けられています。

ブルーベリーにも似た黒紫色の大きな実は、ブルーベリーとは違い、人が食べても全然おいしくありません。しかも種が大きく果肉は少ししかないのですが、ヒヨドリ、ツグミ、シロハラなどの野鳥が好んで食べます。人間と鳥の味覚が違うというより、そもそも、これらの鳥は実を丸のみにするのです。果肉部分が栄養となり、種は糞と共にそのまま排出されます。鳥が飛びながら移動して落とし糞の中の種が、新しい場所で芽を出すのです。自ら移動できない木々は鳥の力を借りて子孫を残して行くというわけです。



みんなのひろば😊

あれから一年



ボランティア「葦の会」に参加させていただいてもう一年経ちました。コロナ禍でどこにも出かけられず、毎日のように公園に来ていました。ここに来て木々の香りや海の香り、野鳥の声など聞いていると、落ち込み気味な気持ちがスーッと引いていくのでした。「ここにずっといたいなあ。何なら住みたい。」と思うくらい大好きな場所になりました。

ある日、ボランティア募集のチラシを目にし、思い切って申し込みました。皆さん、とても素敵な方ばかりで楽しく活動させて頂いています。（あまり役に立っていない気がしますが…。）ボランティアに参加しなければ一生お会いすることのなかった方々と接することができて、何だか嬉しく、不思議な気持ちにもなります。

そして世界が広がりました！ありがとうございます！！

これからもよろしくお祈りしま〜す♡

頑張るぞ〜!! 野鳥のことももっともっと詳しくなりたいな。（M.F）



活動報告



雨の春まつり、
= 葦の会もがんばった！ =



テント設営後、すぐに大粒の雨が！



ポップコーン、コーヒーも準備万端



屋根の下でミニミニバザー



G's 歌で盛り上げる



ホカホカの手作り蒸しパンも！



子供たちが離れないクロツラゲーム

このほか館内でも、羊毛フェルトのシマエナガや「マイ缶バッチ」作り、ゲームなど、会員それぞれの持ち場でサポートにあたりました。

= 夢みるカブコちゃん =

<俳句教室 最多選句>

ショートプログラムチームは、以前パネルシアターで上演したことのあるカブトガニのお話「夢みるカブコちゃん」の台本を手直し、葦の会が行う秋の「ふれあいまつり」に向けて練習中です。楽しみにしていて下さいね！

また、チームでは公園にいる生き物を題材にした紙芝居を毎月第3日曜日午後2時に上演しています。当日公園に来られたら是非見て行って下さい。

= 仲間が増えたよ (^_^) =

公園が年2回開催するボランティア説明会。春の部が3月21日(火・祝)に行われました。4人の出席者が1日をかけて公園の概要説明、園内見学、ボランティア像、やりたいこと等を学んだり発表したりしました。そのプログラム中に我々葦の会の活動紹介の枠もあり、代表はじめ各チームのリーダーが、会の目指すところや活動紹介などを行いました。

参加者の方々全員が入会され、更には当日説明会に参加できなかった2名の方は、仮登録会員として活動を開始、頼もしい限りです。

・梅檀の食べ尽くされて木の芽雨

孝雄

3月

・春菜莢の舌になつかし野辺の道

貞代

4月

<編集後記>

今号の編集に入ったのは4月中旬、恋の季節の鳥の鳴き声や、季節をたがえず現れる昆虫たち、そして無尽蔵に芽吹く植物に爛漫の春を五感で感じていました。しかし気付けば早や初夏、ツバメが飛び交い、木々の緑が濃さを増しています。ヨシ焼き後の黒い大地は既に成長したヨシの若葉に覆われ、園路散策には絶好の暑さ前です！ぜひ公園へお越し下さい。(Tasha)